

蕨眞 あざま 歌人。明治九年八月、千代子葉縣生れ、大正十一年十月十
 回日没（二八七—一九三）。本名眞一郎。筆名わらびのみこと、杉嶺、杉
 眞、杉靈、杉靈子、武射子、眞、礎、礎山、礎山主人、礎山人、礎山
 堂、礎山堂主人、礎山子、礎山生、礎山道人、礎生、蕨杉靈、蕨生、
 蕨眞子、蕨眞山人、蕨眞生、蕨眞道人、蕨礎山人、蕨礎山生、蕨農林
 山人、農林子、農林山人、農林生等。明治二十四年吉井宗元塾に學び、
 家業の農林業に從事。二十四年止岡子親の節事し、根岸笠歌會に加入
 る。二十六年歌誌「馬酔木」、四十二年「阿羅と木」創刊に參與。四
 十四年増岡農林學校を設立し、「南總新報」(のち「農林」)と改題
 を發刊。歌人蕨樞堂は弟。

著書「民間造林の中より」(蕨農林山人名、大正九年一月一日千葉・
 農林社出版部「農林叢書」)、
 「林澗集」(蕨樞堂編、大正十二年十
 一月十一日政教社)等。